

鏡山

木綿壘手向乃山乎今日越而何野邊爾廬將爲子等

〔書言字考節用集一〕乾坤鏡山江州蒲生郡事見風土記

〔和漢三才圖會七十一〕鏡山 在守山之東北其西麓有野路篠原又西有月出島

〔近江名所圖會四〕鏡山街道の右にあり或人の説には天日槍といへる者日の鏡を收しより名付るといふ

〔古今和歌集十七〕鏡山いざたちよりてみてゆかん年へぬる身はおいやしぬると

このうたは、ある人のいはく、大伴のくろぬしが也、

〔古今和歌集二十〕大歌所御歌かへしもの、歌

大伴黒主

近江のや鏡の山をたてたればかねてぞみゆる君が千年は

これは今上のおほむべの近江の歌

〔書言字考節用集二〕乾坤三上嶽歌枕作三神江州野州郡土俗謂之蜈蚣山又謂之都富士

〔淡海温故録一〕野洲郡

三上山 又御神山御上山共カケリ麓ヨリ峯迄十八町アリ嶮岨ニ峙テ立テリ四方ヨリ詠ルニ、

形同ジ富士ニ似タリト云名山靈嶺也、

昔此山ニ大ナル蜈蚣アリテ勢田ノ龍宮城ヲ妨シテ田原藤太秀郷此ヲ射殺タリト云俗談アリ、

リ、

〔近江名所圖會四〕三上山一名杉山ともいふ秀郷の由縁よりいひならはしける絶頂には大龍王の祠あり

毎歳六月十八日龍王祭として遠近來て登山す

〔日本靈異記下〕依妨修行人得猴身縁第廿四

近江國野州郡部内御上嶺有神社名曰陀我大神奉依封六戸略